2013年11月7日

各　　位

会　社　名　日本板硝子株式会社
コード番号　5202
本社所在地　東京都港区三田三丁目５番２７号
代　表　者　吉 川 恵 治
問 合 せ 先　広報･IR部長　藤井一光
電　　話　03-5443-9477

2014年3月期業績予想(通期)の修正について

1. 当期の連結業績予想数値の修正

当社は､本年5月16日に開示した2014年3月期(2013年4月1日～2014年3月31日)の連結業績予想(通期)を修正することとしましたので、以下の通りお知らせいたします。

通期(2013年4月1日～2014年3月31日)

（百万円）

	売上高	連結営業利益	連結税引前利益	連結当期利益	親会社所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	600,000	3,000	△15,000	△20,000	△21,000	△23円27銭
今回修正予想(B)	600,000	0	△18,000	△20,000	△21,000	△23円27銭
増減額(B－A)	-	△3,000	△3,000	-	-	-
増減率(%)	-	-	△20	-	-	-
参考：前期実績	521,346	△17,258	△31,096	△33,455	△34,324	△38円04銭

2. 修正の理由

2013年11月7日付けで発表した､英国セントヘレンズのコーリーヒル事業所所在のフロートラインの休止に伴い、当年度において、個別開示項目としての費用が30億円増加し、営業損益に反映されることを見込んでおります。また、英国における法人税率の改定を受け、当年度の税金費用の計算を見直したことに伴い、税金費用が30億円減少するものと想定しております。これら2つの要因が互いに相殺し合うため、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益の予想は、前回の予想から変更はありません。

当社グループでは、リストラクチャリング施策による効果が2015年3月期以降、コーリーヒルのフロートラインの休止によって生じる効果を含めて、年間約330億円に増加すると想定しています。

以上